

159 皇帝への税金

マタイによる福音書 22 : 15~22、マルコ 12 : 13~17、ルカ 20 : 20~26

15 それから、ファリサイ派の人々は出て行って、どのようにしてイエスの言葉じりをとらえて、罠にかけようかと相談した。 *** 火曜日の出来事 ***

→言葉じり（言葉尻）：ことばの端々。特に、ことばの言いそこなった部分。

16 そして、その弟子たちを（敵対関係にあり、全く考え方や立場の違う）ヘロデ派の人々と一緒に（徒党を組んで）イエスのところに遣わして尋ねさせた。

→（リビング・バイブル）そして、（ファリサイ派の）数人の仲間をヘロデ党（ヘロデを支持する政治的な一派）の者たちといっしょにイエスのところへやり、こう質問させました。

→ヘロデ派の人々は、ヘロデ大王の政治的な追従者、あるいは、その息子ヘロデ・アンティパスを支持する者たちで、ヘロデ・アンティパスがエルサレムで王となることを望んでいた。彼らは、ヘロデ王政権（→ヘロデは、王ではなく、国主）に味方、協力して、ギリシアとローマの生活様式をユダヤ教文化の中へ取り入れた者たちです。彼らはサドカイ派側に立ち、ファリサイ派（反ローマ、反体制派）に反抗しました。しかしここでは、利害が一致し、彼らはファリサイ派と結託し、主イエスを罠にかけようとしてしました。

この時、ユダヤを統治していたの国主のヘロデではなく、ローマの総督、ポンティオ・ピラト（在位：AD26~36）である。

「先生、わたしたちは、あなたが真実な方で、真理に基づいて神の道を教え、だれをもはばからない（→ 憚らない：恐れぬ）方であることを知っています。人々を分け隔てなさらないからです。

→イエスを信じていないファリサイ派やヘロデ党の者たちの見え透いた、かつ偽善的な言葉

17 ところで、どうお思いでしょうか、お教えてください。

皇帝に税金を納めるのは、律法に適っているでしょうか、適っていないでしょうか。

→ユダヤ人は支配者ローマ帝国に税金（→土地税、人頭税、所得税）を納めなければならなかった。

もし、イエスが「YES（適っている）」と答えれば、当然、反ローマの民衆（特に熱心党の者たち）が騒ぎだし、また NO（税金を納めるべきではない）と云えば、ユダヤの指導者たちはイエスをローマ帝国の反逆者と告発することができた。

【一言】 慇懃無礼

相手に対する態度などが、表面（うわべ）はきわめて丁寧であるが、実ははなはだ尊大であること。

18 イエスは彼らの悪意に気づいて言われた。

「**偽善者たち、なぜ、わたしを試そうとするのか。19 税金に納めるお金を見せなさい**（→さあ、銀貨を出してわたしに見せなさい。）。」

彼らがデナリオン銀貨を持って来ると、20 イエスは、「**これは、だれの肖像と銘か**」と言われた。

→1 デナリオン銀貨の片面にはローマ皇帝ティベリウスの肖像が刻まれていた。この銀貨はカエサルに税を納めるために用いられた。

→1 デナリオン=1 ドラクメ=一日の賃金（農夫の日当）に相当、ローマ銀貨

当時は為政者の肖像を貨幣に刻む行為はよく行われたが、ユダヤ人は偶像崇拜を禁止していたため、ユダヤの君主たちは肖像を貨幣には刻まず、名前と在位年を記す程度であった。

従って、ヘロデ・アンティパスも肖像を入れなかった（兄弟のフィリッポスはユダヤ人の少ない地域を治めていたのでローマ皇帝の肖像入りの銅貨を鑄造していた）。



21 彼らは、「**皇帝**（→ローマ皇帝[カエサル Caesar]）**のものです**」と言った。
すると、イエスは言われた。「**では、皇帝のものは皇帝に**（返しなさい）、**神のものは神に返しなさい。**」
→（回復訳）「それでは、カイザルのものはカイザルに（→カイザル政府の規定にしたがって、カイザルに税金を納めなさい）、神のものは神に返しなさい（→神の律法に従い、十分の一をささげなさい）」
→N I V : “So give back to Caesar what is Caesar’s, and to God what is God’s.”
→NKJV : “Render therefore to Caesar the things that are Caesar’s, and to God the things that are God’s.”
→答えの中で、イエスは、①神と人間との関係をきちんと守ること（→神の支配下であり、神に感謝する）、そして同時に、②祖国に対しては良き市民であること（→ローマの統治による種々の恩恵を被っている）という原則を示された。
→カエサル（Caesar：ラテン語）は、ローマ帝国およびその継承国家で用いられた君主号である。

22 彼らはこれを聞いて**驚き**、イエスをその場に残して立ち去った。
→驚き：「敵ながらあっぱれ」というニュアンス

ペトロの手紙一 2：17

すべての人を敬い、兄弟を愛し、神を畏れ、皇帝を敬いなさい。

↓

しかし、神の権威と地上の権威が対立する場合は、神の権威に従うことである。

↓

使徒言行録 5：29

ペトロとほかの使徒たちは答えた。「人間に従うよりも、神に従わなくてはなりません。」

[注意] ファイル No.166を開くには、次のパスワード(4桁半角数字)が必要になります。→【4839】